

第35回 住まいのリフォームコンクール

表彰式・入賞作品パネル展示
場所：センター天文館
時期：令和7年10月4日（土）

応募締切 令和7年7月22日（火）

写真：第34回住まいのリフォームコンクール 県知事賞受賞作
有限会社千匠設計
「清水麓の二ツ家造り - 歴史を受け継ぎ次世代へつなぐ -」

※前回の入賞作品は、HPで公開中



目的

様々な創意工夫に溢れた良質なリフォーム事例を募集し、優秀な作品を表彰し、広く県民に紹介することにより、住宅リフォームの普及促進とリフォーム工事の質の向上を図ることを目的としています。

応募概要

- 対象： 令和3年9月から令和7年4月までに県内で完成したリフォーム工事
- ・リフォームする前後どちらかに住宅用途を含むこと
（例）住宅→カフェ、事務所→住宅、住宅→宿泊施設、住宅→コミュニティ施設など
 - ・増改築（移築を除く）、模様替え、共同住宅の共用部分のリフォーム、DIYリフォームも可
 - ・他のコンクール等に応募したものでも可
- 応募方法： 応募用紙を郵送または持参ください。（当日消印有効） ※複数応募の場合は、別用紙で作成のうえ応募してください。
裏面の個人情報の取り扱いについてご確認のうえ、応募用紙の同意欄にチェックをお願いします。
- 応募資格： 所有者、設計者または施工者（設計者または施工者が応募する場合は、所有者の同意を得てください）
- 応募書類の取扱い：
・提出いただいた書類は返却しません。
・提出書類等の使用权は主催者に帰属するものとします。

バリアフリー 省エネ
耐震 古民家改修
増改築 DIY など
たくさんのご応募
お待ちしております💡



賞

- 県知事賞・・・1点（副賞：商品券3万円）
理事長賞・・・1点（副賞：商品券2万円）
企画賞・・・数点（副賞：商品券1万5千円）
奨励賞・・・数点（副賞：商品券1万円）
特別賞（耐震改修）・・・数点（副賞：商品券5千円）

応募・問い合わせ先

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター 企画課
TEL：099-224-4543 ✉：kikaku@kjc.or.jp
〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番228号



- ・住宅センターのHP (<https://kjc.or.jp/>) からダウンロードできます。
- ・各市町村建築担当部局・各県地域振興局建築関係窓口でも配布しています。

主催：（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター
協賛：鹿児島県住宅リフォーム推進協議会・（一社）鹿児島県建築協会・（公社）鹿児島県建築士会・（一社）鹿児島県建築士事務所協会
後援：鹿児島県・（公財）住宅リフォーム・紛争処理支援センター
鹿児島県ゆとりある住まいと街づくり協議会

応募用紙の作成要領（記載例）

令和7年度 第35回「住まいのリフォームコンクール」		受付番号	
記入日	令和7年7月1日		代表者
応募者 会社名 住所 氏名	〇〇建築設計室 鹿児島市〇〇町〇〇〇番地 〇〇 〇〇 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)		〇
設計者 会社名 住所	〇〇建築設計室 鹿児島市〇〇町〇〇〇番地 〇〇 〇〇 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)		
施工者 会社名 住所	株式会社 〇〇工務店 鹿児島市〇〇町〇〇〇番地 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)		
協力企業名（専門業者等） 〇〇電設 株式会社			
個人情報の取扱いの同意欄 別添応募要領の「住まいのリフォームコンクールに係る応募者等の個人情報の取扱い」を承認し、次のいずれかに〇印を付けてください。 同意する 同意しない			
応募住宅の所在地 鹿児島市（所在する市町村名のみご記入ください。）			
住宅所有者の年齢	60歳	家族構成	2名
建築確認の要・不要	要・（不要）	所有者の応募同意	有・無
融資制度利用有無	有（一般 リフォーム）		無
リフォーム助成金利用有無	有		無
建方形式	（戸建）共同住宅 長屋 その他（ ）		
構造	（在来木造）・鉄骨造（鉄筋コンクリート造） ・木質系プレハブ・コンクリート系プレハブ・ツーバイフォー ・鉄骨系プレハブ・その他（ ）		

※ 上記の記載事項に間違いありません。

応募者署名

〇〇〇 〇〇〇



対象建築物	築年数	30年	構造(階)	在来木・RC造(平屋)	延べ床面積	152.05㎡
竣工	2020年1月	工事期間	210日間	工事部分の面積	152.05㎡	
工事費	2,100万円	リフォーム階	全面リフォーム＋増築			

■設計施工のポイント（増改築等の工夫）・アピールポイント

基本構想

- ・施主は子育てが終わった夫婦で、老後を緑豊かな住空間で過ごしたいという希望であった。
- ・敷地は植栽豊かで、施主は景観をとても大事にしており、両親が亡くなったため既存木造住宅を解体することで、庭を広くとり、またシンボルツリーをそのまま活かし、室内から緑が見えるよう計画し、コンパクトな住まいでありながらゆとりある暮らしをめざした。
- ・既存住宅は壁が多く、部屋がそれぞれ孤立し強い印象だったため、LDKを中心に明るく空間構成を構築した。

デザインの特徴

- ・シンボルツリー越しに見える、正面ファサードが重要だと考え、片流れ屋根の木調の外観で、雑木林の中の住宅をイメージした。
- ・内装は施主の要望で、木のぬくもりが感じられる、あたたかみのある空間を目指した。
- ・RC平屋建ての既存住宅を木造にて増築し、リビングを広く確保し、吹き抜け空間を作り、ハイサイドライトから入る光により、明るく開放的な空間になるよう計画した。
- ・通常、南側は大きな掃き出し窓を設置するが、本計画では外の景色を眺めることが重要だったため、暖簾を用いて、窓枠に風景が切り取られることを意識した。

技術的な工夫

- ・既存RC部分は壁を解体することで、梁がたわむ可能性があったため、中央部に鉄骨柱を設置し、アクセントカラーを用いて、リビングの特徴のひとつとした。
- ・空間が広くなり、吹き抜け部分を設けたので、空調の効きを考慮して、床暖房を採用した。

性能向上した箇所

- ・耐震性の向上…上部構造評点0.27（倒壊の可能性高い）⇒1.64（1.5以上倒壊しない）
- ・床下・基礎部分…シロアリ対策を施しベタ基礎とし基礎立ち上がりもフカシ基礎で補強
- ・木材の劣化対策…小屋裏換気・外壁通気工法・軒の出900で日射遮蔽
- ・省エネルギー対策…UA＝0.65 BELS評価（基準値0.87）クリア…数値の小さい方がよい
- ・アルミサッシ1枚ガラス⇒樹脂金属複合Low-E2枚ガラスに全て交換…暖かい家に
- ・灯油ボイラーから高効率給湯機エコキュート（CO₂排出削減）に交換…灯油の切れる心配なし
- ・床下廻りの給水・給湯・排水管を全て交換し、また維持管理・更新が容易にできるよう配慮した。

※ 応募者等欄の記入要領

- （１）【応募者】欄には、施主、設計者又は施工者のいずれかを記入してください。
- （２）住宅センターからの連絡窓口として、【代表者】欄に〇印をつけてください。
- （３）協力企業欄はこのリフォーム工事を実施するうえで協力を受けた専門業者等がある場合のみ記入してください。
- （４）【住宅の概要】欄は該当するところに〇印をつけてください。

プランニングなど施主の要望に対する対応、設計施工のポイントや創意工夫した点、こだわった点、改修費用削減策など、自由に記入してください。

耐震改修や省エネ改修などの性能向上リフォームを行った場合

例：耐震診断法における上部構造評点 0.27→1.65
BEI：0.87
UA値：0.65、 η AC値：2.7 等
基準適合状況を分かる範囲でご記入ください。

タイトル
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

住まいのリフォームコンクール 第35回

リフォーム前		
 ①南東側の和室	 ②南側の広縁	 平面図
 ③外観写真。既存の木造住宅が建ち並んでいる。	 配置図	

敷地は、植栽が豊かで、施主は景観をとても大事にしていた。既存の住宅は壁が多く、部屋がそれぞれ孤立し、強い印象だった。

リフォーム後		
 ④LDKは広々とした一体空間となり、窓からは風景が切り取られて見える。	 ⑤増築部。ハイサイドライトから光が入る。	 ⑥緑に囲われた玄関アプローチ
 ⑦補強用の鉄柱がアクセントとなる。	 平面図	 断面図
 ⑧和室。右側に障子を配す。	既存木造住宅は解体することで、庭を広くとり、コンパクトな住まいでありながら、ゆとりある暮らしを目指した。吹き抜け部分を設けたので、床暖房を採用し、また既存住宅分にはなかった断熱材を施工し、開口部はすべてペアガラスとすることにより、断熱性能は新築と同レベルにあった。	

キャッチフレーズまたは、セールスポイントを15字程度で表現してください。

自由にレイアウトしてください。

《写真について》

- ・リフォーム前後の比較ができる写真を貼ってください。
- ・（可能ならば）周囲の状況の入った外観写真を貼ってください。
- ・耐震改修工事の場合、工事途中の写真を添付してください。（別紙添付可）

《図面について》

- ・リフォーム前後の平面図、配置図（方位付き）を添付してください。
- ※リフォーム部分は着色するなど分かりやすく工夫してください。（応募用紙に入りきらない場合は別紙添付でも可）

審査委員

委員長	鰐坂 徹	元鹿児島大学工学部教授
委員	八反田 淳一	（一社）鹿児島県建築士事務所協会会長
委員	本房 美保	（公社）鹿児島県建築士会女性部会副部会長
委員	西村 昭一	（一社）鹿児島県建築構造設計事務所協会会長
委員	岩元 ミユキ	鹿児島県インテリアコーディネーター協会会長
委員	瀬戸 司	鹿児島県土木部建築課住宅政策室長
委員	高崎 智幸	（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター理事長

住まいのリフォームコンクールに係る応募者等の個人情報の取扱い

KJC080711

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター 総括個人情報保護管理者 総務管理部長

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター（以下、「住宅センター」という。）では、住宅リフォームの普及促進とリフォーム工事の質の向上を図るため、「住まいのリフォームコンクール」を実施しており、今回の応募で提出していただく書類は、「住まいのリフォームコンクール応募要領」に定められた書類です。この提出書類により取得した個人情報につきましては、住宅センター個人情報保護方針に基づき、以下のとおり取扱います。

1 個人情報の利用目的

提出書類により取得した個人情報は、次の目的以外には利用いたしません。

- （１）選定結果通知などの事務連絡に関すること
- （２）入賞作品の表彰・公表に関すること
- （３）後援者（鹿児島県等）への結果報告に関すること

2 個人情報の第三者への提供

取得した個人情報については、あらかじめ本人の同意を得ない限り第三者への提供はいたしません。

3 個人情報の委託

入賞者への賞状及び入賞作品の作品集作成などのため、取得した個人情報を委託することがあります。

4 個人情報の提供がなかった場合

提出書類等について、不備や、未記入等があった場合、受付できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

5 個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等について

申込者本人から個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等についてお申し出があった場合、住宅センター個人情報保護規程（規程第19号）及び個人情報の開示等に関する取扱要領に基づき、適切かつ迅速に対応いたします。

【開示等受付窓口】

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番228号

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター 総務管理部 総務課 個人情報保護事務局
TEL 099-224-4539

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く）